

# 【計画】4-4.気候変動による高層湿原の生物群集への影響調査

【分野: 自然生態系、対象地域: 京都府(京都市)】 地域適応コンソーシアム近畿地域事業

## ■ 目的

### ・ 気候変動が高層湿原※に与える影響

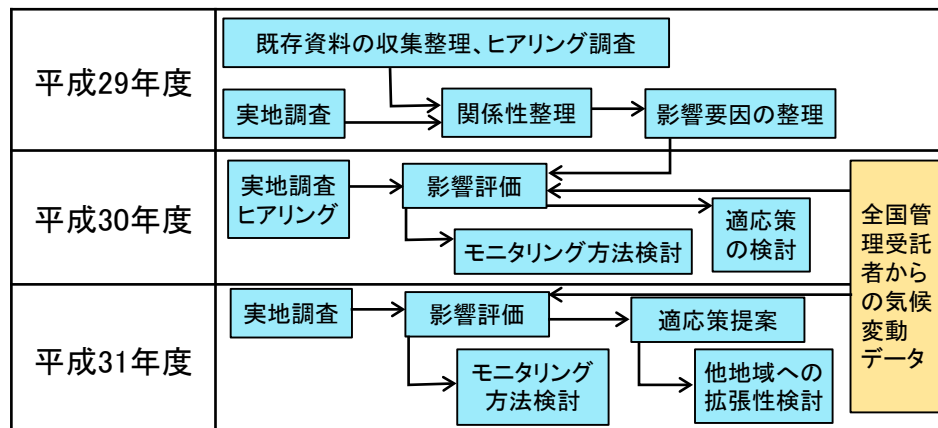
高層湿原は気候、地形、水文・水質等の条件が微妙なバランスに保たれて形成・維持されている。気候変動に伴い、それらのバランスが大きく変化する可能性があるが、知見が不足している。

※一般的には、冷涼な気候下で枯れた植物遺体がすぐに分解されずに堆積が進んだ結果、水面標高が地下水面よりも高くなった湿原。氷河期の遺存種など貴重な動植物が生息・生育する 경우가多く、保全上重要である。

### ・ 調査内容

深泥池及び近畿地方の高層湿原等に関する既存文献等を収集し、気候変動に関連する内容を整理するとともに、主に深泥池を対象として泥炭の分解とも関連が深いと考えられる水温、浮島地下水位、溶存酸素量等のデータ取得を行う。深泥池集水域の水収支の将来予測から、高層湿原の水環境(浮島地下水位や水温等)の変化を通じた水生動物群集組成の変化を推定する。また、それらの結果に基づいて、適切なモニタリング方法や生物多様性保全のための適応策を検討する。

## ■ 調査計画



深泥池(所在地:京都市北区上賀茂深泥池町)  
(株式会社プレック研究所撮影)

## ■ 実施体制

